

2022年度

# 関西大学 博物館実習展



関西大学博物館実習展  
庶民のくらしを読み解く  
**倭約令**

2022年  
11.13(日)~11.18(金)  
【開館時間】10:00~16:00  
【入館料】無料  
【場 所】関西大学博物館  
特別展示室(簡文館内)  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL:06-6368-1171



2022年度関西大学博物館実習展  
**大坂の  
商と大名**  
— 預申銀子万華 —

2022年  
11月13日(日)~11月18日(金)  
【会場】関西大学博物館特別展示室(簡文館内)  
【開館時間】10:00~16:00  
【入館料】無料

〒564-8680  
大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL:06-6368-1171



**お金の  
デザイン  
展**  
お金のデザイン、  
見て行かネ?

2022年度 関西大学博物館実習展  
11/13(日)~11/18(金)

開館時間: 10:00~16:00  
場 所: 関西大学博物館特別展示室(簡文館内)  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL:06-6368-1171

入館料無料



**結びの  
文化展**  
関西大学博物館実習展

2022年11月13日(日)▶18日(金)

開館時間 10:00~16:00  
入館料 無料

場 所 関西大学博物館特別展示室(簡文館内)  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL:06-6368-1171



二〇二二年度 関西大学博物館実習展  
**桜花爛漫**  
花で装い、日々を彩る

**菊日和**

11.13(日)  
↓  
11.18(金)

開館時間 10:00~16:00  
入館料 無料  
場 所 関西大学博物館特別展示室(簡文館内)  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL:06-6368-1171

11/13(日)  
▼  
11/18(金)

開館時間: 10時~16時

入館料: 無料

場 所: 関西大学博物館  
特別展示室(簡文館内)

# 2022年度 関西大学博物館実習展

11月13日(日)～11月18日(金)

開館時間:10時～16時/入館料:無料  
関西大学博物館特別展示室(簡文館内)



## 倅約令 ～庶民のくらしを読み解く～

皆さんは江戸時代の庶民のくらしがどのようなものであったか想像できるでしょうか。当時のくらしを知る手がかりとして、各地に残された古文書があります。しかし、現代に伝わる江戸時代の文書の多くは、領地の統制のため領主や村役人たちが書いたものです。したがって、これらの文書の中で庶民のくらしについて詳しく触れたものは多くありません。そこで本展では、関西大学総合図書館の近世文書コレクションより、日常の質素倅約を奨励した「倅約令」など、庶民のくらしの一端を示す資料をご紹介します。およそ300年前の庶民のくらしを読み解いてみましょう。

## 大坂の両替商と大名 一預申銀子之事一

江戸時代には、金・銀・銭の3種類の貨幣が流通しており、その相場の変動や使用通貨の地域差のため、貨幣を両替する必要性がありました。そのため両替商という生業が確立し、発展していきました。一方で、彼らは両替だけでなく現在の銀行のような役割も担いました。中でも大坂には有力な両替商が集まり、彼らは商人でありながら幕府や大名を相手に取引を行っていたのです。

本展では両替商が使用した道具や大名との取引証文などを取り扱い、道具・文書の2つの視点から彼らの活躍の一部をご紹介します。



## お金のデザイン展

皆さんの財布にあるお金には何が描かれているか、今思い浮かべることができますか?あるいは「キャッシュレスにしまったから、財布を持っていない!」という方もいらっしゃるかもしれません。

貨幣、つまり紙幣や硬貨には「聖徳太子」のような誰もが知る偉人の肖像、日本を象徴する植物や動物も描かれ、これまでに多くのデザインが人々に親しまれてきました。

本展は、明治から令和に至る紙幣や硬貨を紹介しながら、偽造防止技術の発展に伴うデザインの変化をご覧ください。

なつかしの貨幣とともに、世界に誇る手のひらサイズの精緻な技術をお楽しみください。

## 結びの文化展

皆さんは「結び」ということばを聞いて、何を思い浮かべますか。

日本には「結び」に関する文化が多くあります。たとえば、慶事や弔辞に欠かせないのし袋の「水引」や、お正月の「しめ縄飾り」、飾り結び、着物の帯など、「結び」と聞いてイメージするものは、このようなものではありませんか。

私達が日頃、目にするものの中にも、さまざまな「結び」が存在しているのです。そしてこれらの「結び」は、現代のライフスタイルに合わせて、雑貨やアクセサリとしてアレンジされています。

本展では皆さんが日常で目にする「結び」に着目して、現代の日本において展開する「結び」の一端を感じていただきたいと思います。



## 桜花爛漫 菊日和

古来より、人々は多くの場面で花を愛でてきました。現代においても我々にとって花は身近な存在であり、和歌や文学作品、生活用品の中に歴史を通してその存在を感じることができます。時に人は花に癒され、季節や哀愁を感じ、いつかは散ってしまうであろうその姿に自らの人生をも重ねることがあります。

本展においては、日本の伝統的な装飾品に数多く用いられている桜と菊に焦点を当てています。その生態を始めとして、これらの花を感じる絵画、装飾品、化粧品などを展示しています。本展を通して、花に彩られた人々の生活を味わってください。

## 関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35  
<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

TEL : 06-6368-1171  
E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp

関西大学千里山キャンパス  
阪急千里線「関大前」駅 徒歩10分

